

公共事業等施行状況調（令和2年1月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (1月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		元年度 C	C/A	30年度 D	D/B	
		元年度	30年度	元年度 A	30年度 B					
1	治山・治水	24,947	22,299	15,249	12,836	13,388	87.8	10,405	81.1	
2	農林・水産	30,007	25,304	22,139	18,280	16,985	76.7	16,150	88.3	
3	道 路	53,779	42,017	31,854	23,340	26,858	84.3	20,060	85.9	
4	港湾・空港	5,790	6,622	2,665	2,864	2,380	89.3	2,157	75.3	
5	下水道・公園	6,143	14,390	3,550	9,508	3,129	88.1	8,252	86.8	
6	住 宅	1,738	2,478	1,099	932	1,058	96.3	821	88.1	
7	庁 舎	744	3,444	603	3,380	570	94.5	3,103	91.8	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	8,063	6,298	6,843	5,323	2,434	35.6	2,419	45.4	
11	工業用水・上水道等	1,242	999	148	87	118	79.7	66	75.9	
12	災害復旧	129	610	15	338	15	100.0	335	99.1	
13	その他	7,951	7,313	4,625	4,046	2,922	63.2	3,271	80.8	
	計	140,533	131,775	88,790	80,936	69,857	78.7	67,039	82.8	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和2年1月末）

（単位：社、件、百万円、％）

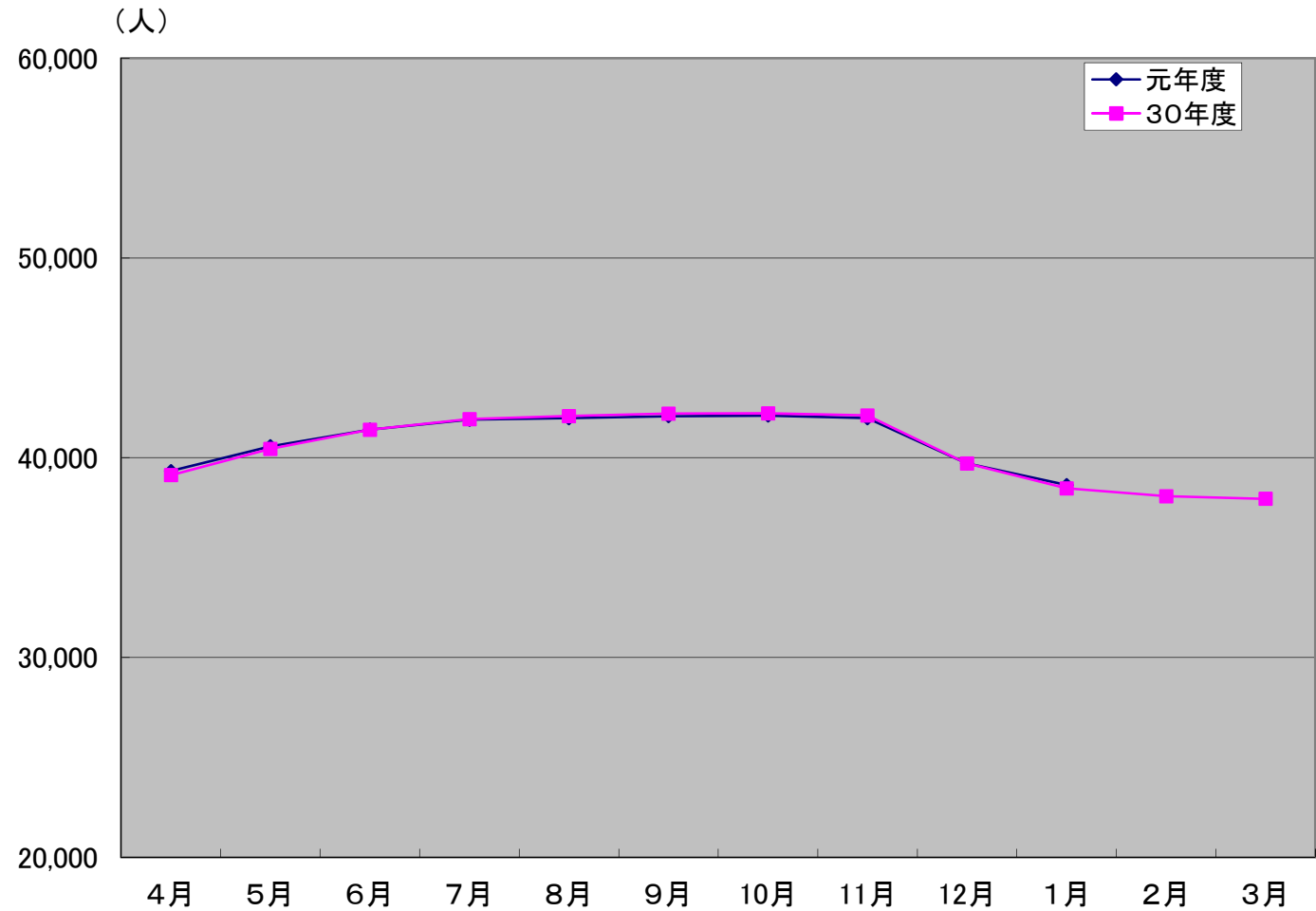
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
元年度	140,533	88,790	25,594	2,548	69,857	24,888	2,436	63,659	614	93	2,856	92	19	3,342
					B/A 発注率 78.7	C/B 97.2	95.6	91.1	D/B 2.4	3.6	4.1	E/B 0.4	0.7	4.8
前年度比	106.6	109.7	113.2	107.4	104.2	114.0	109.7	119.5	88.3	72.1	59.5	109.5	82.6	37.2
30年度	131,775	80,936	22,610	2,373	67,039	21,831	2,221	53,258	695	129	4,802	84	23	8,978
					B/A 82.8	C/B 96.6	93.6	79.4	D/B 3.1	5.4	7.2	E/B 0.4	1.0	13.4

被保険者数

	元年度	30年度
4月	39,329	39,131
5月	40,575	40,444
6月	41,411	41,404
7月	41,898	41,938
8月	41,985	42,090
9月	42,080	42,214
10月	42,115	42,222
11月	41,978	42,114
12月	39,712	39,709
1月	38,636	38,468
2月		38,075
3月		37,949

前月末被保険者数	39,712
資格取得者数	525
資格喪失者数	1,601
転入者数	10
転出者数	10
今月末被保険者数	38,636

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)1月末



建設資材の需給・価格動向調査 (2年2月)

	需給動向									価格動向									備 考									
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均					
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落			
セメント	○			○			○			○				○			○				○				○			県内の12月の販売量は2万7千トン(セメント協会調べ)で前年同月比10.1%の減少。メーカー各社は、値上げ額が目標に達していない需要家を対象に、上積み交渉を継続している。しかし、主たる需要家の生コンメーカーは、製品輸送および廃棄物処理に係るコスト増加を理由に、値上げに抵抗している。先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品	○			○			○			○				○			○				○				○			県内出荷は道路用、農業用とも、前年同期比でやや減少している。需要が小口化しているため各メーカーとも採算性を重視しており、製品価格は横ばいで推移している。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
生コンクリート	○			○			○			○				○			○				○				○			県内の1月の出荷量は3万m3(生コン工組調べ)で前年同月比6.2%の減少。出荷量の減少を背景に需要家の値引き要求が強まっているが、メーカー各社は採算確保を目的として現行価格を維持している。先行き、横ばい推移。
砕 石	○			○			○			○				○			○				○				○			大型需要に乏しく、荷動きは低調。メーカー各社は製造・輸送コストの上昇分を販売価格に転嫁したい意向だが、需要家の購入姿勢は厳しく、横ばいで推移している。需要の好転は見込めず、先行き、横ばい推移の公算が大きい。
小 棒	○			○			○			○				○			○				○				○			SD295A・D16でトン当たり70,000円と前月比変わらず。小口物件が主体で市中は盛り上がり欠いている。ここに来て原料の鉄スクラップ価格が下落基調に転じており、手配を急ぐ物件の少ない需要家は、模様眺めの様相を強めている。メーカー各社は採算を重視し、現行価格維持の姿勢を示しており、これを受けた流通筋も安値販売を控えてきた。しかし、需要家の値下げ要求は厳しさを増しており、安値取引も散見され始めている。目先、弱含みの公算が大きい。
アスファルト	○			○			○			○				○			○				○				○			1月の県内出荷量は1万トン(合材協会調べ)で前年同期比51.6%の減少。昨年度、1月に発注される工事が多かったため、前年同期と比較すると大幅に減少しているが例年並みの出荷量である。一部メーカーは、原材料の骨材価格の先高値や輸送コスト等の上昇を理由に値上げ交渉を続けている。しかし、採算を確保したい需要家の購入姿勢は厳しい。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
木 材	○			○			○			○				○			○				○				○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。令和元年12月の県内新設住宅着工戸数は413戸で前年同月比18.7%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比5.5%減少、それに次ぐ貸家は同47.4%の減少となっている。こうしたなか、柱・桁・梁用の米松材やレッドウッド材等が、現地相場の下落などを背景として全国的に軟化したため、下落となった。先行き、国産材は横ばいで推移する見込み。
油 類	○			○			○			○				○			○				○				○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり104円と前月比2円の上昇。重油はローリー渡りで、リットル当たり65円と前月比2円の上昇となった。世界経済の減速懸念と供給過剰感の台頭で原油相場は下落。これを受け元売り各社は仕切価格を見直し、流通筋も追従した。足元では、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動が停滞し燃料需要が落ち込んでいる。主要産油国はさらなる減産を検討しているが、原油相場は新型コロナウイルスが落ち着かない限り改善要素は出てこないとの見方が強い。目先、弱含みの公算大。
型枠合板	○			○			○			○				○			○				○				○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,360円と前月比変わらず。現地メーカーの値上げや減産を背景に底入れ感が台頭しているが、工事が低調なため需給バランスは均衡している。市中の荷動きが少ない状況下、流通筋では強気の売り込みを手控えており、模様眺め感が根強い。先行き、横ばいで推移する見込み。
形 鋼	○			○			○			○				○			○				○				○			200×100でトン当たり85,000円と前月比2,000円の上昇。原料の鉄スクラップ価格が下落したことを受け、製品市況を先安とみた需要家は小口当用買いに徹している。メーカー各社は、販売価格維持のため需要見合いの供給を継続しているが、需要の減退は予想を上回り、市中在庫は増加に転じている。需給緩和が進行するなか、流通各社の販売競争は激しさを増し、下落局面となった。需要回復にはまだ相当の時間を要するとの見方が大勢を占めており、目先、弱含み推移の公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (2年2月)

区 分	品 名・規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーウム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	70,000	0.0	70,000	0.0	70,000	0.0	70,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	84,000	0.0	84,000	0.0	84,000	0.0	84,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(マイクロリー渡し)	L	104.0	-1.9	104.0	-1.9	104.0	-1.9	104.0	-1.9	104,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	65.0	-3.0	65.0	-3.0	65.0	-3.0	65.0	-3.0	65,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,360	0.0	1,360	0.0	1,360	0.0	1,360	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	85,000	-2.3	85,000	-2.3	85,000	-2.3	85,000	-2.3	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

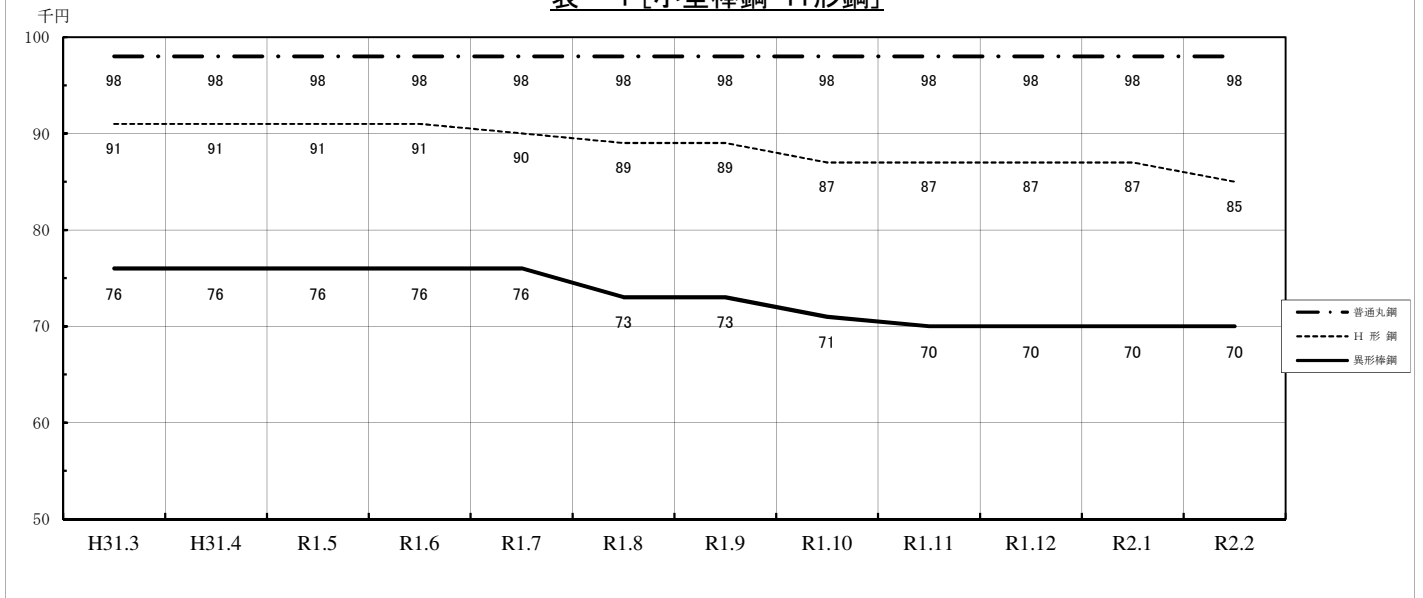


表-2 [セメント・生コン]

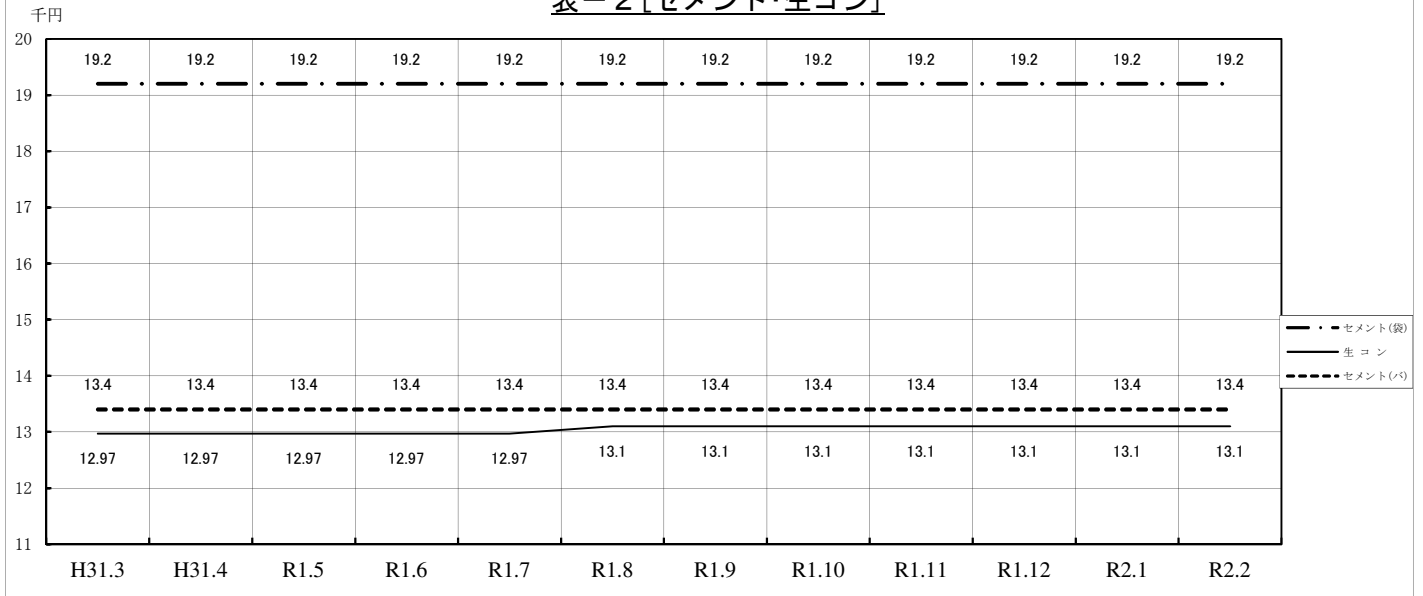
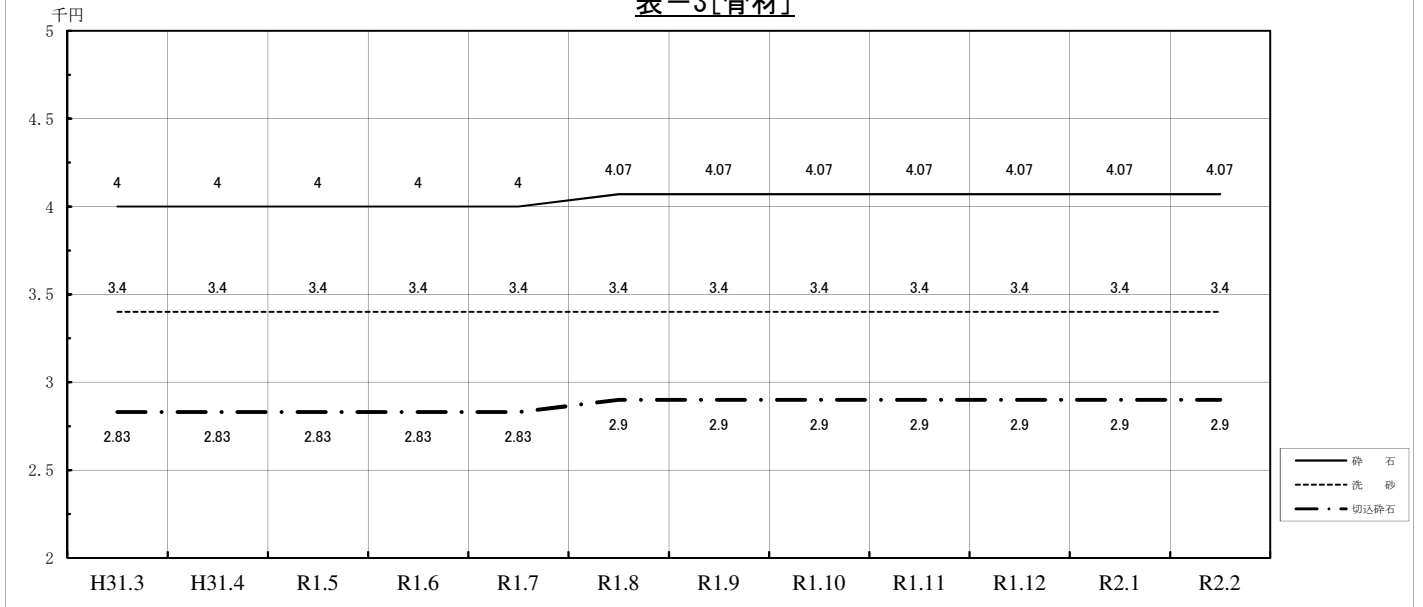


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

